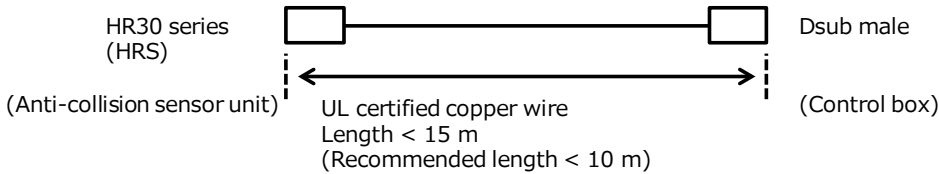
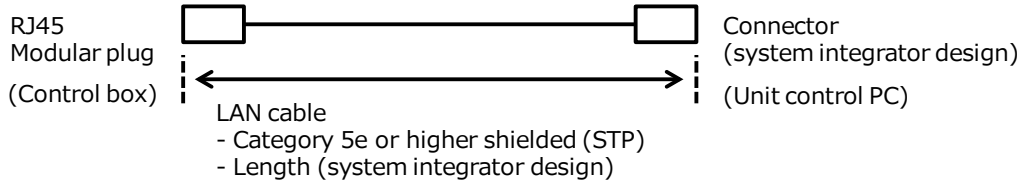
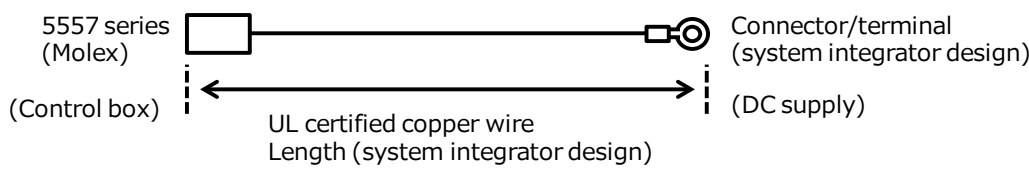
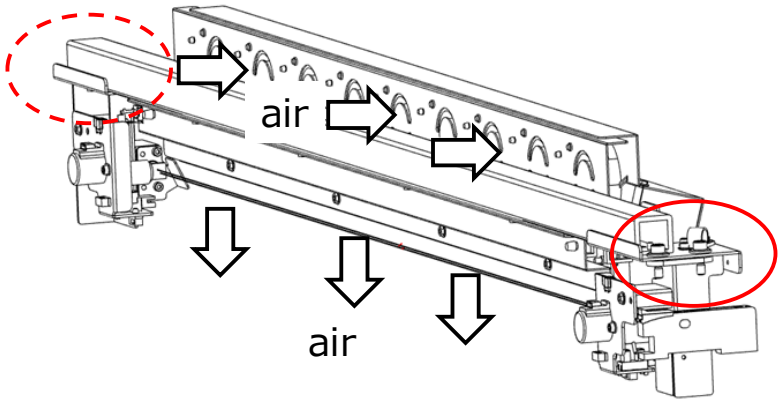


コンポーネント仕様書

コンポーネント ID	07
コンポーネント名	用紙浮きセンサーユニット (Anti-collision sensor unit)
システム概要	印刷基材の浮きを検出して、印刷中の印刷基材とプリントヘッドとの衝突を防止するためのユニット
システム概要図	
ブロック構成図	(注) PC 間の接続については、「00.全ユニット共通仕様書」参照 (注) FAN は温度変化による検知ばらつきを低減させるために用いている

弊社提供物	● 本体（用紙浮きセンサー） ● コントロールボックス（1 個のコントロールボックスで 1 個の用紙浮きセンサーユニットを制御） ● 交換部品（別売り） ➤ ファン ● ドキュメント ➤ インターフェース仕様書 ✧ 207.Anti-collision Sensor Unit Mechanical IF ✧ 307.用紙浮きセンサーユニット コントロールボックス IF ✧ 310-1.Overall Configuration Network ✧ 317. Anti-collision Sensor Unit Network ➤ 納入仕様書 ✧ 907.用紙浮きセンサーユニット 納入仕様書 ➤ 取扱説明書（アプリケーションノート） ✧ 707.用紙浮きセンサーユニット 取扱説明書 ● ソフトウェア開発ツール ➤ ソフトウェア開発キット（SDK）（システムインテグレーターが本ユニットをコントロールするソフトウェアを開発するための環境） ✧ 400a.ユニット共通 SDK ✧ 407.用紙浮きセンサーユニット SDK ✧ 421.ソフトウェアスタートアップガイド ✧ 422.メンテナンス SDK ✧ 440.エラー定義 ✧ 450.ユニットコントロール PC キットインストール手順書
システムインテグレーター 準備物と その仕様	● 通信ケーブル（本体 - コントロールボックス）  ● 通信ケーブル（コントロールボックス - ユニットコントロール PC）  ● 電源ケーブル（コントロールボックス） 
主な機能	● センサーを横切るレーザー光によって、不透明な印刷基材に一定以上の浮き（角折れ、シワ等）があるかどうかを検知する ● 検知した印刷基材の浮きの高さに応じて、2 つの検知信号を出力する （＝ 高い浮き検知信号、低い浮き検知信号）

主な仕様	検知信号を出力するしきい値：+0.6mm、+3.0mm (下表参照)		
	印刷基材の浮きの検知高さ (注)	高い浮き検知信号	低い浮き検知信号
	～+0.6 mm	OFF	OFF
	+0.6～+3.0 mm	OFF	ON
	+3.0 mm～	ON	ON
	(注) 印刷基材表面の高さ (浮きがないとき) を 0 mm としたとき。		
	- レーザー光量の低下を検知した時間が 500 μs 以下のとき、浮き検知信号を出力しない - 印刷基材の厚み：0～2 mm (0.01 mm 刻みで調整可) - 印刷基材の幅：最大 820 mm - クラス 1 のレーザー光を使用 - IP54 規格に準拠 (センサー本体、オプション)		
概略寸法 (詳細は図面参照)	- 本体 ➤ X：1,500 mm、Y：200 mm、Z：200 mm		
必要スペース	- 本体、ケーブル、およびそれらの着脱やメンテナンスに十分な空間を確保してください - インターフェース概要の図を参考に、外気を取り入れるための開口を確保してください 参考断面：780 mm × 50 mm		
重量	本体：15 kg		

インターフェース概要	● メカ ➤ 設置インターフェース ◇ 赤丸部計 2 箇所で開催装置本体に固定（左右各 1 箇所）  ◇ コントロールボックス 19 インチラック（2U サイズ）  ● エレキ ➤ 主な入力 ◇ 印刷基材の厚さ、検知開始指示（ソフトウェア経由） ➤ 主な出力 ◇ 浮き検知信号（高い浮き・低い浮き）（トランジスタ オープンコレクタ） ➤ 電源 ◇ 24V 5A ● ソフト ➤ 別紙の SDK インターフェース仕様書を参照
推奨交換部品 （頻度）	なし
推奨メンテナンス 内容（頻度）	レンズ清掃（不定期。自己診断により清掃を指示する）
制約事項	● 動作環境： 15～35 ℃、20～80 %RH（結露なきこと） ● 周囲照度：受光面照度 3,000 lx 以下（白熱ランプ相当） ● 印刷基材の温度： 15～35 ℃ （注）周辺温度と印刷基材の温度差が大きいとき、原理上誤検知することがある ● 可視光を通さない媒体が対象（半透明・透明な基材は対象外）